

# 大橋川 通信



2006.5  
第11号

刊行/  
大橋川コミュニティーセンター

先例地視察と第3回大橋川周辺まちづくり検討委員会・第3回景観専門委員会を開催



水面に映る大橋と新緑

## まちづくりりに新たな視点を

### 大阪・京都の先例地を視察

大橋川周辺のまちづくりや、景観・水辺の活用等について検討する上で、川とまちづくりが一体となった整備の事例を参考とするため、4月18日(火)に大阪市の堂島川及び木津川等や、京都市の鴨川の視察を、大橋川周辺まちづくり検討委員会と景観専門委員会が合同で行いました。

大阪市の堂島川や木津川では川沿いに整備された遊歩道や公園等を、道頓堀川では水面に整備された木製の遊歩道等を、いずれも船上から視察しました。

京都市の鴨川では、水際近くの高水敷に整備された遊歩道を散策し、川沿いに並ぶ建物の様子や遊歩道の利用状況、また水辺で憩う人々の様子を視察しました。

委員は、参考となる箇所を写真に収めたり、互いに意見を述べ合う等、熱心にまちの様子を感じていました。

### 先例地視察を踏まえ まちづくりについて想いを語る

第3回大橋川周辺まちづくり検討委員会と第3回景観専門委員会  
が合同で、先例地視察の翌日、4月19日(水)に京都市内で開催し

ました。

前回の第2回大橋川周辺まちづくり検討委員会で、各委員に述べてもらったまちづくりへの想いや考えを基に、先例地視察で感じたことや再認識したこと等を付せん  
に書き込み、地図の該当する場所に貼り、各委員に詳しく意見を述べてもらい、その上で意見交換を行いました。

今後、委員会が基本方針を策定していく上で、これらの意見を参考に検討していきます。

### 資料の閲覧場所

- 大橋川コミュニティーセンター
  - 松江市大橋川治水事業推進課
  - 島根県斐伊川神戸川対策課
  - 国土交通省出雲河川事務所
- <http://www.mable.ne.jp/~comisen>



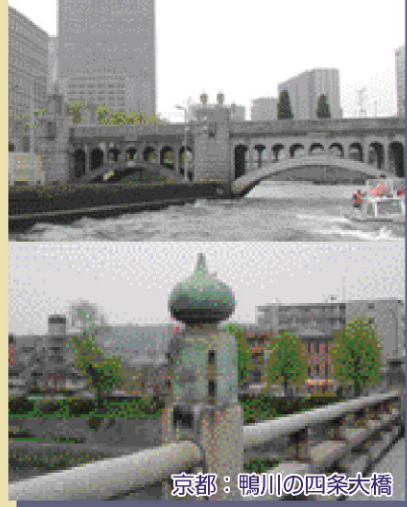
第3回「大橋川周辺まちづくり検討委員会」  
第3回「景観専門委員会」の様子



### 京都：鴨川、大阪：堂島川・木津川など 先例地視察を通じて感じたこと

委員会での発言の中から、視察をした上での主な意見と、意見の基となった視察場所の様子やイメージ写真などを掲載したものです

大阪：堂島川の水晶橋と大阪市役所



京都：鴨川の四条大橋

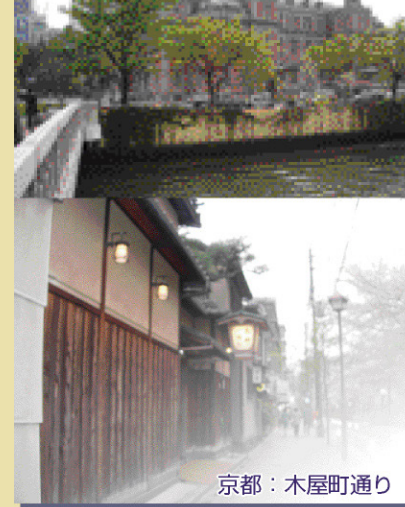
大阪の堂島川に架かる橋や、京都の鴨川に架かる橋を見学して感じたことは、橋と建物が調和し、それぞれの場所の気質を表してたということ。大阪や京都とは違う松江らしさを橋のデザインに反映して欲しい。

京都：鴨川左岸の遊歩道



大橋川の上流部では、場所によって違う整備をしたら良いと思う。中でも大橋から新大橋間は、鴨川の左岸に近い形が相応しいのではないかと思います。

大阪：中之島中央公会堂



京都：木屋町通り

松江でどのような風情を大切にすべきかを考えると、橋北では歴史と文化、橋南では商業活動の中心であり都市の発展の象徴という点。神社・仏閣など歴史的なものを保存し、そぐわないものは配置しない。

大阪：堂島川と大阪天満宮の鳥居



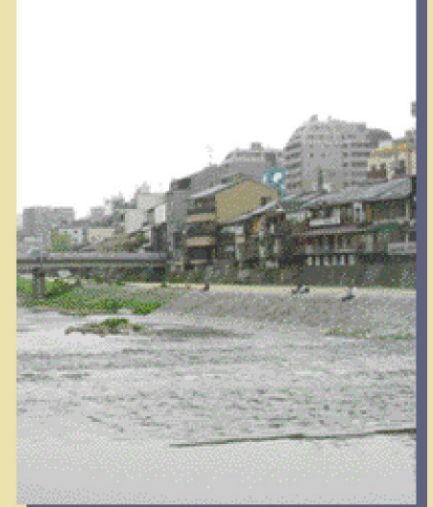
水辺と一体となったまちづくりという点では、水辺に降りていく階段が必要であると思った。

大阪：道頓堀と湊町リバープレイス



今の生活も100年、200年後には歴史となる。松江らしさは古いものばかりでなく新しい形も必要だと思う。道頓堀では、かつては川に背を向けていたところが、川に面したところを表している点は参考になると感じた。

京都：鴨川と周辺のまちなみ



今後の松江の景観を形成するために、市民が納得して守っていけるようなルールを決めていかなければならないと感じている。

京都：鴨川のせせらぎ



水の音など五感で感じるものはとても大切だが、大橋川の場合、流れが緩やかなため水の音を聞くのは難しい。噴水とまでは言わないが、水の音を聞く事が出来るようなものを新たに創ってはどうか。

京都：鴨川右岸の遊歩道



京都：鴨川左岸の遊歩道

大橋川の場合、大阪や京都と比べ、まちと水辺に近いのが魅力だと思う。一体感を重視するような親水性と、公園や遊歩道を憩いの場所として積極的に活用する親水性を区分し、それぞれ相応しい整備を行って欲しい。

大阪：道頓堀川の水上演習



京都：鴨川の風物詩 納涼床

堂島川や道頓堀など大阪の川はにぎわいの演出を、京都の鴨川は川の風情や、その背景にある歴史観をもった川らしさの創出といった視点で参考になった。

大阪：大阪市で初めて整備された中之島公園



大阪：堂島川のカヌー

中州に関しては、  
・都市型の森林公園として整備  
・エコ農業や環境学習の場として活用  
中の島に関しては、  
・中州の撤去による水上スポーツの場として利用  
といった意見があげられました

京都：鴨川沿いに並ぶ商業施設



京都や大阪のように観光客がリピーターとなって再び訪れるような魅力づくりが必要だと思う。残念ながら今の松江にはないため、出雲大社から大山まで広域的な視点で考え、宍道湖・中海の一体的整備が必要。

京都：鴨川の自転車利用



大橋川の下流域から中流、上流へと繋がるサイクリングロードが欲しい。朝夕の通勤・通学時に利用する場となるのではないかと思います。



# 環境調査計画について説明会を開催しました

平成18年4月22日(土)、23日(日)「大橋川改修事業環境調査計画書」について、松江・米子・境港で説明会を開催しました。

平成17年4月に公表・閲覧した「大橋川改修事業環境調査計画書(案)」について、住民の皆様や知事・市町長意見を踏まえて作成した計画書(案)は、平成18年3月に行われた「第3回大橋川改修に関する環境検討委員会」において概ね妥当と判断され、平成18年4月に「大橋川改修事業環境調査計画書」としてとりまとめ、公表・閲覧を開始しました。

この度決定した計画書の内容について、松江市・米子市・境港市において説明会を開催しました。

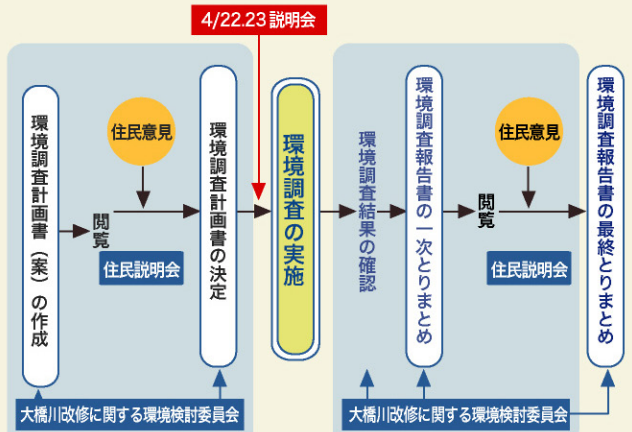
今後は、計画書に基づき環境調査を実施します。



■説明会のようす



## 大橋川環境調査の流れ



## 大橋川の今昔

大橋川の見慣れた風景も時代と共に少しずつ姿を変えてきています。「大橋川の今昔」では、大橋川沿川の移り変わりをお宝写真と共に紹介しています。

上段の写真は、昭和8年頃の松江港の様子です。現在の第二代新大橋は翌昭和9年に架けられたもので、写真には、まだその姿はありません。写真の左側にある木は売布神社境内の木々で、現在の新大橋はこの売布神社横にある通りの延長にあります。

写真の橋は、初代新大橋です。大正3年7月、大橋架け替えに伴い仮橋として架けられた橋がそのまま残され、初代新大橋となったものです。

大橋川沿いにある木造の建物から船が着いている岸壁付近にかけて、現在では公園として整備され、市民に親しまれています。

大橋川の北岸では、木造住宅が多く、高い建物が見当たらず、松江城までが見渡せています。

### 高い建物が無い時代の松江の街並

昭和8年頃 売布神社付近 松江港より北岸を望む



提供:松江郷土館

現在の様子



## 大橋川コミュニティセンター

【開館日】年中無休(年末年始除く) 【開館時間】9:30~16:00 【駐車場】5台程度  
〒690-0841 松江市向島町134-1  
TEL(0852)28-3621・3622 FAX(0852)28-3623  
E-mail:comisen@mable.ne.jp  
ホームページ: <http://www.mable.ne.jp/~comisen>



\*大橋川コミュニティセンターは、松江市と島根県、国土交通省出雲河川事務所が一体となって管理・運営をしています。

### 周辺案内図

